

知識・知恵の蓄積と発信

～地先の安全度評価、内水を考慮した氾濫解析～



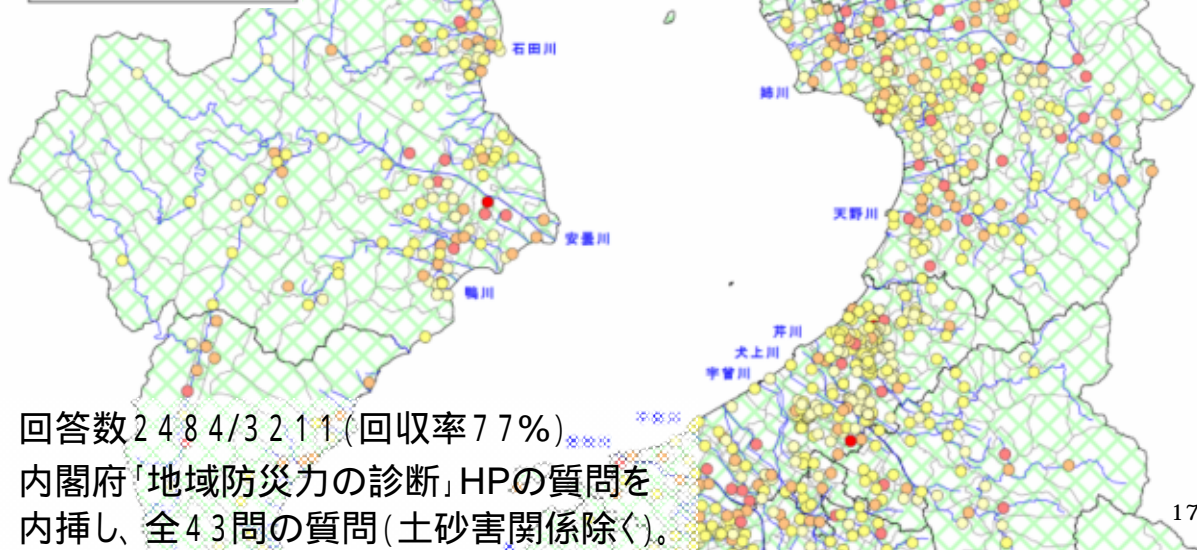
内水氾濫を考慮した氾濫解析の
動画表示(1/100モデル洪水)

知識・知恵の蓄積と発信

～【水害リスクの評価】県下、全自治体にアンケート調査～

総合評価

凡例	
● (赤)	とても高い (70点～)
● (赤)	高い方 (50～69点)
● (黄)	平均的 (40～49点)
● (黄)	低い方 (30～39点)
● (黄)	きわめて低い (～29点)



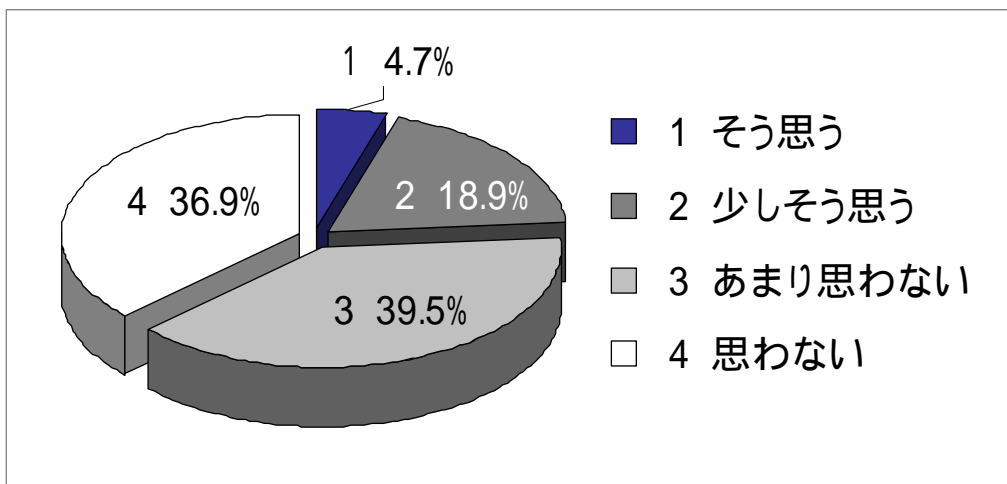
- 回答数2484/3211(回収率77%)
- 内閣府「地域防災力の診断」HPの質問を内挿し、全43問の質問(土砂害関係除く)。

17

知識・知恵の蓄積と発信

～県政モニターアンケート調査～

問:あなたは、今のお住まいが今後10年以内に洪水による被害を受けると
思いますか？



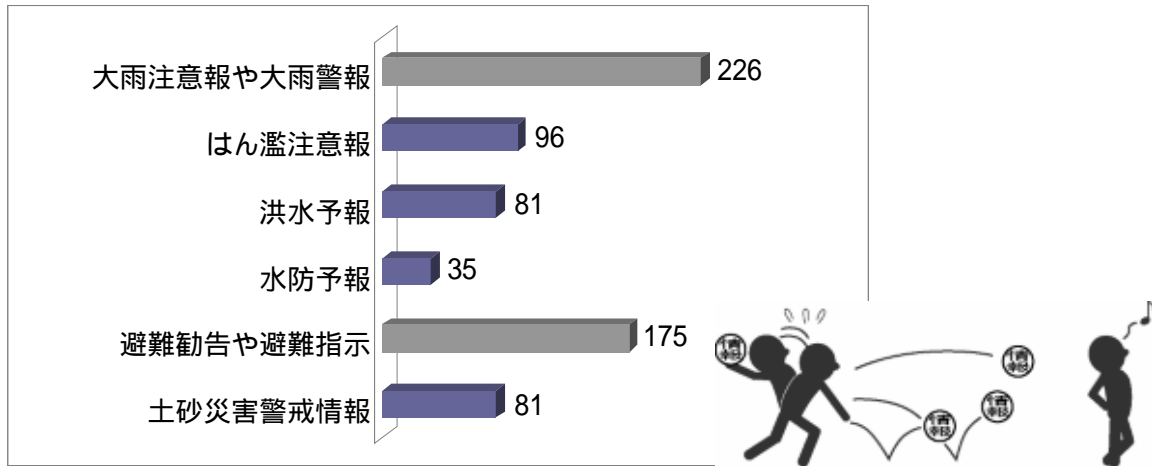
出典)県政モニターアンケート(H19.12)回答結果 回答者数:233人

- 洪水による被害を受けると「思わない」「あまり思わない」人の割合が約8割。

知識・知恵の蓄積と発信

～ 県政モニターアンケート調査～

問: 水害や土砂災害の発生する危険性が高くなった時に出る情報のうち、あなたが知っているものすべてに をしてください。(複数回答可)

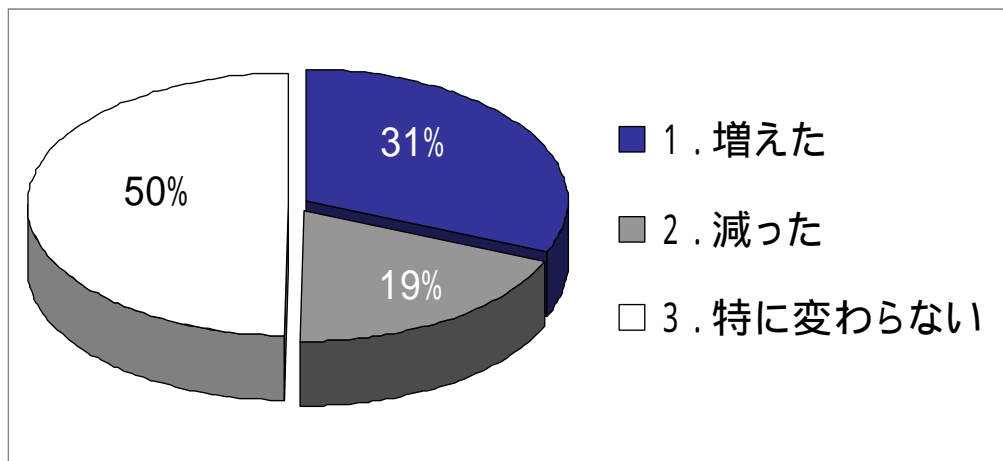


- 大雨注意報・警報、避難勧告・指示に比べ、はん濫注意情報、洪水予報、水防予報を知っている住民が非常に少ない。

知識・知恵の蓄積と発信

～ 自治会長アンケート調査～

問: あなたの自治会では、昔(10年程度前)と比べて地域で実施される行事は増えましたか。それとも減りましたか。

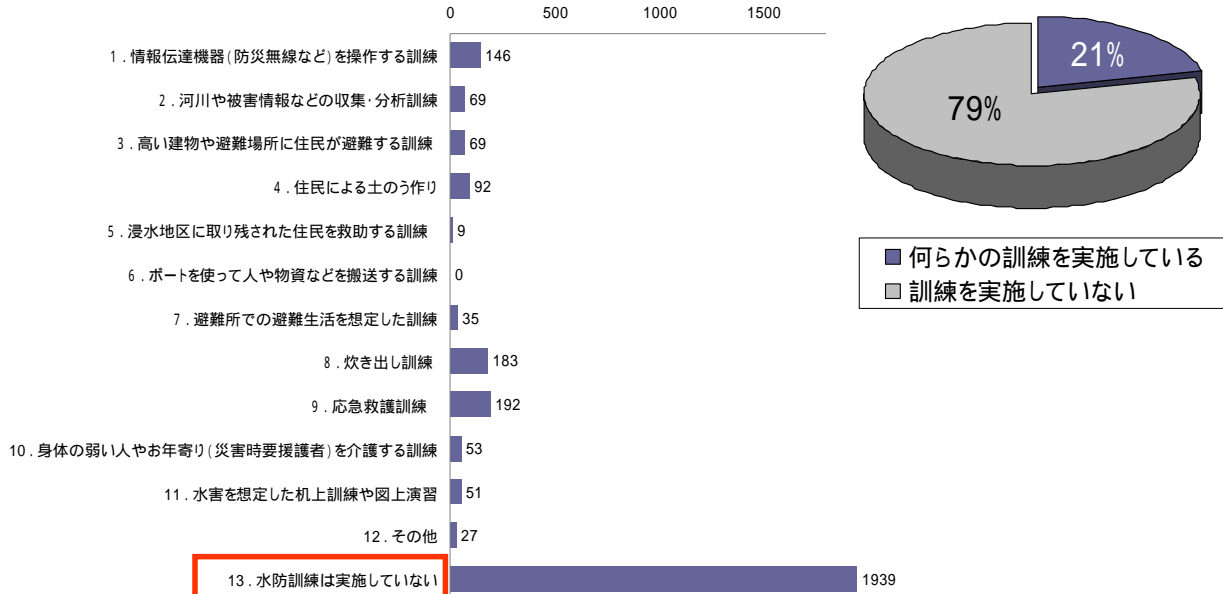


出典) 地域防災力に関するアンケート(H20.2) 回答結果 回答数: 2,399

知識・知恵の蓄積と発信

～自治会長アンケート調査～

問 あなたの自治会では、水害に備えるための訓練（水防訓練）のうち、どれを実施していますか。行政主催の訓練への参加や自治会で実施している訓練を挙げてください。（複数回答可）



出典) 地域防災力に関するアンケート(H20.2)回答結果 自治会数:2,465 回答数:2,865

21

知識・知恵の蓄積と発信

～水害写真データベースの公開(県立琵琶湖博物館)～

<http://www.lbm.go.jp/emuseum/database/index.html>



検索画面

- 過去の水害写真を検索・閲覧可能。
- 年代別、場所別にデータベースが整理されている。



22

知識・知恵の蓄積と発信

～ 水害の記録、記憶、備えのデータベース(流域治水政策室)～



システム
開発中

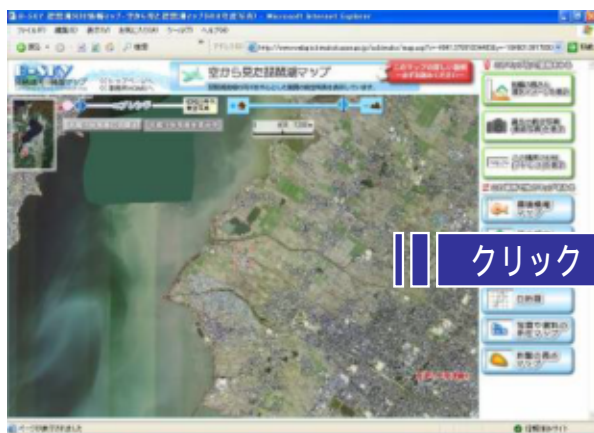
- 聞き取り調査、アンケート調査、各市町字誌などの水害に関するデータを一括してデータベース化
- 被害の状況、経験者の声、地域に伝わる災害をやり過ごすための知恵などを蓄積

これらの画像はすべて開発中のものです。(平成21年3月10日現在)

知識・知恵の蓄積と発信

インターネットを活用した河川情報の発信 B-SKY・B-BOX(琵琶湖河川事務所)

<http://www.bbox.biwakokasen.go.jp/mzBBOX/btop.html>



クリック!



トップページ

- 琵琶湖周辺、任意地点の地盤高や明治29年9月洪水時の浸水イメージが調べられるほか、様々な情報を表示(B-SKY)。
- 水害写真など、事務所が収集した情報を一般に公開(B-BOX)

知識・知恵の蓄積と発信

～ 洪水位標による水害記録の伝承～

台風23号(H16)の洪水位標(由良川)



大津浪記念碑(岩手県宮古市)



高き住居は
児孫の和楽
想へ惨禍の
大津浪
此処より下に
家を建てるな

明治廿九年にも
昭和八年にも
津浪は此処まで来て
部落は全滅し
生存者僅かにも二人
後に四人のみ幾歳
経るとも要心何従

出典: 左 第5回由良川流域懇談会資料
右 群馬大学片田教授(神奈川大学防災講演資料より) 25

知識・知恵の蓄積と発信

～ 洪水位標により水害記録の伝承～

- 昭和28年、明治29年水害などの記憶を風化させないため、当時の最高水位などを表示した石碑を設置

千丈川(大津市)	昭和28年洪水
草津川・金勝川(栗東市)	昭和28年洪水
高時川(高月町)	大正10年洪水
琵琶湖(高島市)	明治29年洪水
琵琶湖(守山市)	明治29年洪水
琵琶湖(大津市)	明治29年洪水



出典) 写真 近畿治水大会資料(2003)、写真 守山市HP「ふるさと守山デジタル資料集」、写真 及び 大津市HP

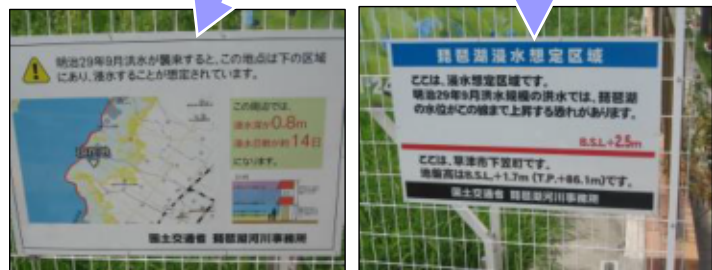
知識・知恵の蓄積と発信

～ 浸水想定表示板の設置(琵琶湖河川事務所)～

草津市下笠町 草津あおばな館での設置状況



明治29年9月と同様な洪水があった場合に、予想される浸水区域と浸水深を知らせするための標示板を設置



出典・資料提供: 近畿地方整備局琵琶湖河川事務所 27

知識・知恵の蓄積と発信

～ まるごとまちごとハザードマップ～



- 浸水深や避難所等洪水に関する情報を「まちなか」に表示することにより、発災時の安全かつスムーズな避難につなげる。
- 平成18年7月に国土交通省がガイドラインを公表。河川管理者と市町が連携し、全国各地で設置を検討。18年度は円山川(豊岡市)、刈谷田川(見附市)、江の川(三次市)で標識を設置。今後、平成21年度までにすべての国管理河川の流域で設置予定。

出典: 国土交通省 H28